

大津町復旧・復興計画進捗状況一覧【平成29年度末現在】

※大津町・復旧復興計画進行管理シートより抜粋

基本方針	重点施策	整理番号	事業項目	参考：H28年度末までの実績	復旧期間2年間(H28～H29)の進捗状況と実績	累計歳出額(千円)	平成29年度末時点の課題(※担当課のコメント)	平成29年度末現在の取組みの評価	担当課
① 住民生活・くらしの再建	住宅の確保	1	応急仮設住宅の建設【事業完了】	6カ所の応急仮設住宅を建設した。	進捗状況 100% 6ヶ所の仮設住宅を建設した。	0	応急仮設住宅の使用期限が2年間であるため、今後、期限の延長や災害公営住宅の建設や町営住宅への移転も含め検討していく必要がある。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	都市計画課
		2	公費解体撤去等の支援【事業完了】	申請件数1,428棟、解体件数858棟(公費解体件数491棟+先行解体負担件数367棟) 被災廃棄物処理量 48,818t	復旧期間2年間で申請があった1,541棟(公費解体1,146棟、自主解体395棟)の解体を完了。 進捗状況:100%	5,411,031	新築物件に移住後に解体を考えていた世帯について、工期の遅れから解体時期を遅らせて欲しい相談があっただが、3月末までにはすべて解体を完了することが出来た。 ※損壊状況から解体やむなしと判断した家屋等については追加で申請を受けて、早急に片づけを行い、解体に移ったため、3月に完了することが出来た。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	環境保全課
		3	住宅の応急修理	申請件数810件、発注件数640件、完了件数480件。	進捗状況 86.4% H28:申請752件、発注604件、完了482件 H29:申請72件、発注157件、完了217件	377,660	業者不足や人手不足により完了に至っていない被災者が多くいるので、業者の情報提供や応急修理への協力の働きかけを行ってきたい。 ※発注件数や完了件数が減少しており、未完了件数を考慮すると進捗が遅くなっている。申請者や施工業者に連絡を取り早期の完了を目指す。	C 目標を下回る [80%以下]	都市計画課
		4	被災者生活再建支援・相談	(申請件数) ・基礎支援金 433件 (差額申請 100件) ・加算支援金 178件	申請対象者数 663件(半壊解体以上)のうち ・基礎支援金 661件(未申請1件・申請不能1件) (解体後による差額追加支給申請102件) ・加算支援金 357件(未申請305件) ・未申請者にも随時申請の勧奨を行い、再建のための経済的負担軽減につながった。	0	・申請期限が迫る中、再建方法が未定の世帯への対応 ・解体がまだ終わらない世帯への対応 ※住宅再建が完了している世帯に対し、随時受付・進達し、支援法人から早期支給が行われることにより、被災者の経済的負担軽減ができています。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	福祉課
		5	一部損壊世帯への支援	H29.3月末時点 (支給件数) 271件 (支給額) 13,949,000円	一部損壊世帯数 3,830件のうち 見舞金支給件数 480件(12.5%) 見舞金支給総額 24,135,000円 ※H30.3.31までの実支払い額 《参考》県義援金対象(修理費100万円以上)637件	24,135	・熊本県義援金の一部損壊世帯に対する配分基準額の引き下げが行われた場合の対応検討。 ・修理が間に合わない世帯に対応するための申請期限延長の検討。 ※公的支援がないとされていた一部損壊世帯へ修理費用に応じて見舞金を支給することにより、被災者の経済的負担軽減ができていますが、申請件数が想定より少ない。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	福祉課
		6	災害公営住宅の建設	応急仮設住宅やみなし仮設住宅へのアンケート調査が行われている。	立石・引水・吹田・後迫団地:測量、地質、設計委託発注	51,800	建設戸数と間取りの決定に時間を要し、協定の締結が予定より遅くなっている。 4か所めの候補地の決定に時間を要した。	C 目標を下回る [80%以下]	都市計画課
		7	耐震診断事業、耐震改修事業	耐震診断の申込みが旧耐震30件、新耐震42件となっている。(H29.4.26現在)	進捗状況 68.7% 申請:耐震設計 11件、耐震改修 5件 年度内完了:耐震設計 9件、耐震改修 2件	1,259	改修補助金が低いため、改修工事はしないという意見が寄せられた。 ※受付期間を年度末まで延長し事業進めていく。	C 目標を下回る [80%以下]	都市計画課
		8	地域防災がけ崩れ対策事業	外牧地区の調査設計発注	測量設計を完了し工事着手、事故繰越して工事中。	10,658	町内の業者が民間を含めた仕事量が多く、労務・機械・材料の確保が難しく、10月に工事発注したが工事が遅れている。	C 目標を下回る [80%以下]	建設課
		9	宅地耐震化推進事業(拡充事業含む)【検討中】	拡充事業について、国へ概算要求を行うための調査を実施した。 その他、国県主体で行われた被災宅地危険度判定のデータを活用した。	進捗状況 40% ○相談窓口の開設 ○調査・測量・設計委託業務の実施 ○住民及び建設業組合への説明会の開催	5,508	拡充事業については、個人が行う復旧事業に対して補助金を交付するものであり、町内の建設業組合へ説明会を実施したが、申請者が施工業者との請負契約を履行できるかが課題となる。 ※申請者や関係業者へのアプローチとスケジュール管理を行って行きたい。	C 目標を下回る [80%以下]	都市計画課
		10	被災宅地の復旧支援	県主催の「被災宅地復旧支援事業に関する説明会」に出席し、制度に関する情報共有を行った。また、大津町宅地復旧補助金交付要綱の制定を行った。	進捗状況 60% ○相談窓口の開設 ○現地調査の実施 ○宅地復旧補助金交付要綱に基づく補助金交付	98,639	決定通知によりこれから復旧工事を行う案件について、申請者への確認とスケジュール管理が必要となる。 ※今後も関係市町村との連絡を密にし、事業を執行して行きたい。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	都市計画課

基本方針	重点施策	整理番号	事業項目	参考：H28年度末までの実績	復旧期間2年間(H28～H29)の進捗状況と実績	累計歳出額(千円)	平成29年度末時点の課題(※担当課のコメント)	平成29年度末現在の取組みの評価	担当課
		11	防災意識の啓発	平成29年2月の防災訓練時に啓発する。	毎年の総合防災訓練の実施や広報にて防災意識の向上を図った	0	町民一人一人の意識を高める必要がある。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	総務課
		12	大津町浄化センター災害復旧工事【事業完了】	大津町浄化センターの最終沈澱池設備(No. 2汚泥掻寄機)、最初沈澱池(2号掻寄機)の復旧が完了。	H28復旧工事完了	10,595	—	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	下水道課
	2 地域コミュニティの維持・再生	13-1	地域コミュニティの復旧	・補助要綱策定(12月) ・区長説明会の実施(12/22) ・被害まとめ	・復旧完了施設 23施設 ・備品購入 4施設	43,315	※ほぼ予定通りである。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	生涯学習課
13-2		地域コミュニティの復旧	・関係課協議	・コミュニティ施設認定 30箇所 ・復旧完了施設 16施設	0	・コミュニティ施設認定申請があった施設の認定を行った。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	生涯学習課	
14		仮設住宅でのコミュニティづくり	支援回数(延べ) 【社協】 訪問1,146件・電話254件・文書206件・その他160件 【菊愛会】 相談 50件 健康サークル 51回・ネットワーク事業 34回・健康相談(巡回)14回・イベント等 26回	仮設・みなし仮設入居者の見守りや再建状況を確認するため、関係支援団体とケース会議等を実施し全ての入居者の状況把握しながら、個々の課題に応じた対応を行ってきた。また、孤独死発生防止のため、見守り体制の強化と防止に努めている。 【仮設・みなし入居世帯数(H30.3.31現在)】 228世帯 【支援回数(合計)】 訪問 10,864件・電話 2,241件・文書 263件 相談 319件・健康サークル 215件	42,299	・県において仮設延長の方針が決定したが、再建方法がまだ決まっていない世帯への延長に対する支援 ・アルコール依存等生活面での不安のある方への対応 ・孤独死防止策の見直し ※孤独死防止のための対策を再検討し、見守り体制の強化と、再発防止に努めている。 ※全ての仮設入居者の再建の進捗を確認することで、重点的な支援が必要な世帯の抽出と世帯に応じた個別の対応を行っている。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	福祉課	
15		災害時要援護者の支援体制づくり	熊本地震による課題検証作業	災害時避難行動要援護者名簿の更新を行い、関係支援機関(行政区嘱託員・民生委員・警察・消防等)にも要援護者リストを配布し、支援体制構築のための取組みを実施した。	0	・災害時における避難体制の検討(リスト活用方法) ・個別支援計画書の充実 ※要援護者リストの各地域での活用方法や、周知・フォローが必要である。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	福祉課	
16		地域活動に関する支援	地域防災力活動支援事業補助金 受付60件	延べ102件の申請があり、地域の防災力向上に寄与した	9,600	未実施地区への推進が課題。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	総務課	
17		税の減免措置	個人町民税 49,755千円/1,672人 固定資産税 147,362千円/1,312件	広報等により、町税減免の周知を行い、2ヶ年で個人町民税51,461千円(1,730人)、固定資産税148,383千円(1,425件)の減免措置を行った。	201,794	再案内に対しても減免申請を提出されない方が存在している。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	税務課	
18		国民健康保険税の減免措置	687世帯	広報等により、国民健康保険税減免の周知を行い、2ヶ年で95,451千円(1,367世帯)の減免措置を行った。	96,684	遡及しての国民健康保険加入・脱退により、実績値に不測の増減が発生すると予測される。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	税務課	
19		後期高齢者医療保険料の減免措置	平成29年3月末までに減免対象となった者への減免は全て完了。【H28年度実績】 減免対象者:961人 減免額:22,823,200円	居住する家屋が半壊以上である方などを対象として、保険料の減免を実施。 減免期間:平成28年4月分～平成29年9月分 減免額:34,337,300円	0	特になし	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	健康保険課	
20		一部負担金の免除(国保・後期)	平成29年度の減免実績は以下のとおり。 【国民健康保険】 106,372,816円 【後期高齢者医療保険】 64,326,660円	居住する家屋が半壊以上である方などを対象として、医療機関で支払う一部負担金の減免を実施。 減免期間:平成28年4月分～平成29年9月分 減免額:国民健康保険 194,411,063円 後期高齢者医療保険 120,934,409円	0	特になし	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	健康保険課	
21	介護保険料の減免措置	減免実績(平成29年4月末) 1,659人 56,158千円	居住する家屋が半壊以上である方などを対象として、保険料の減免を実施。 減免期間:平成28年4月分～平成29年9月分 減免額:69,308,092円	0	特になし	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	介護保険課		

基本方針	重点施策	整理番号	事業項目	参考：H28年度末までの実績	復旧期間2年間(H28～H29)の進捗状況と実績	累計歳出額(千円)	平成29年度末時点の課題(※担当課のコメント)	平成29年度末現在の取組みの評価	担当課
		22	介護保険サービス利用料の免除	【3月末還付実績】356人 6,121千円 その他、過誤調整で免除を実施	居住する家屋が半壊以上である方などを対象として、介護サービス利用料の免除を実施。 減 免 期 間：平成28年4月分～平成29年9月分 減 免 額：84,704,900円	6,949	特になし	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	介護保険課
		23	保育料等の減免措置	平成29年3月納期限分まで認可保育の保育料と公立幼稚園保育料を減免 ・保育園 46人分 ・幼稚園 9人分 ・家庭的保育 1人分 減免額 4,306千円	平成29年3月納期限分または平成29年8月納期限分まで認可保育の保育料と公立幼稚園保育料を減免(保育園46人分、幼稚園9人分、家庭的保育1人分)減免額計5,299,800円 学童保育入所者と認可外保育施設利用者に利用料補助を実施(学童保育23人分、認可外保育3人分)補助額計1,497,500円	0	※学童保育施設には、施設長を通して被災調査を行ったため、円滑に実施ができた。また、県の復興基金交付金を活用し予算の確保ができた。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	子育て支援課
② 社会基盤の復旧・経済の再生	1 社会生活基盤の復旧	24	道路の災害復旧工事	(補助)41箇所中33箇所の復旧工事完了 (単独)応急復旧を実施	(補助)41箇所中40箇所の復旧工事完了(岩戸橋工事中) (単独)28箇所の復旧工事を発注、3箇所を繰越して工事中。	474,000	町内の業者が民間を含めた仕事量が多く、労務、機械、材料の確保が難しく、工事が遅れている箇所がある。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	建設課
		25	都市公園の災害復旧工事【事業完了】	大津町弓道場の復旧工事の完了。	進捗状況 100% 大津町運動公園(体育館・球技場・競技場・その他外構)を除く都市公園の災害復旧について全て完了した。	18,122	—	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	都市計画課
		25-2	都市公園の災害復旧工事【事業完了】	・URとの協定締結 ・平成29年度繰越	進捗状況 100% ・総合体育館は工期を3月まで延長したが、全施設竣工完了し、供用開始済。	441,288	—	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	生涯学習課
		26	国道57号の崩落に伴い迂回路となっている町道の補修工事	57号の迂回路として利用されている町道については、国・県が直轄して維持管理の一部を行っている。 舗装の補修等	地元からの要望等により、町道三吉原北出口線、新小屋桜山線の一部については、国・県により舗装の補修や側溝蓋の設置などが行われた。	0	町道区間にて住民から舗装の補修が寄せられるが、予算の問題もありすべてに対応するのは難しい。引き続き要望を行っていく。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	建設課
		27	豊肥線不通区間の公共交通の確保	JR九州と県により通学者利用が主の代替バスを運行。また、三吉原北出口線の夜間通行止め等もあり、肥後大津駅北側発着を南側ロータリー発着～国道57号経由に変更。	鉄道路線復旧についてJR九州をはじめ関係機関への要望や情報収集を行ってきた。震災後、JR九州と県により通学者利用が主の代替バスが運行されている状況だが、29年にはJR九州が先行して肥後大津駅～立野駅間の復旧工事に着手した。	0	JR豊肥本線の本線復旧については全くムドが立っていない状況であるため、町としては瀬田駅の運用再開を目指し、先行して災害復旧工事が始まった肥後大津～立野間の早期復旧についてJR九州をはじめ関係機関に働きかけていく。	C 目標を下回る [80%以下]	総合政策課
		28	都市計画マスタープランの作成	—	進捗状況 50% ○住民アンケートの実施 ○策定検討委員会(第1～3回)の開催 ○都市計画審議会(第1回)の開催	0	引き続き新規開発の可否を検討し、開発の可能性を検討する。庁内での情報共有を十分に行い、上位機関等と協議する。 ※ほぼ目標通りに進んでいる。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	都市計画課
		2 保健・医療・福祉・教育の復旧・充実		29	教育施設の復旧【事業完了】	ほとんどの小中学校の校舎、付帯設備(体育館等)の補修・改修の工事が終了。	H28年度中に被災した小中学校の校舎、付帯設備(体育館等)の補修・改修工事が完了。H29年度中には小学校1校の屋内運動場復旧工事及び、記念碑改修工事も完了し、全ての復旧が完了する(100%完了)。	319,125	—
30	社会体育施設の復旧【事業完了】			町民テニスコート、武道館いずれも工事が完了し供用開始をしている。	平成28年度中に復旧が完了し、供用を開始している。	2,904	—	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	生涯学習課
31	被災者の心のケア			支援回数(延べ) 【社協】訪問1,146件・電話254件 文書206件・その他160件 【菊愛会】相談 50件 【NPOクラブおおづ】健康サークル 51回、ネットワーク事業 34回、健康相談(巡回)14回、イベント等 26回	支え合い事業関係団体と個別ケース会議を行い、アルコール依存等により心身面でケアが必要な支援対象者を早期に把握し、病院や関係機関につなぎ対応することができた。	42,299	・アルコール依存等によりケアが必要な被災者への対応 ・接触が難しい世帯への対応 ・仮設を退去後のフォロー ※支え合い事業関係団体との連携を行うことで、早期に心身面の変化について把握することができている。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	福祉課

基本方針	重点施策	整理番号	事業項目	参考：H28年度末までの実績	復旧期間2年間(H28～H29)の進捗状況と実績	累計歳出額(千円)	平成29年度末時点の課題(※担当課のコメント)	平成29年度末現在の取組みの評価	担当課
		32	災害時の保健・医療の連携体制の構築	なし	熊本地震での課題を踏まえ、今後の災害に備え関係機関と連携した保健・医療の体制整備のための検討を実施した。	0	熊本地震での課題検証に伴う精査と、ニーズ量による今後の方向性を検討	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	福祉課
		33	生涯学習施設等の復旧	・被害状況の整理(12月) ・各工事設計依頼	瀬田地区公民館分館解体完了。 錦野地区公民館分館(建物・擁壁)復旧完了。 進捗状況:100%	13,119	特になし	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	生涯学習課
		34	指定文化財の復旧	・馬屋、石垣の緊急解体工事实施 ・本格復旧工事契約	・解体工事80%完了 ・平成34年度復旧に向けて協議	1,899		B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	生涯学習課
		34-2	指定文化財の復旧	・無田原遺跡標柱復旧 ・森駅記念碑復旧(森区事業)	・無田原遺跡標柱復旧 ・森駅記念碑復旧(森区事業) ・文化財ドクター指定住宅の復旧 協議:4件 申請:3件 ・猿渡六地藏:地元協議	46	猿渡六地藏・光尊寺橋の事業費が未定。 猿渡六地藏の事業費算定開始 ※地元の事業に対する町・県の負担割合を検討する必要	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	生涯学習課
	3								
	産業基盤の再生	35	農地、農業用施設等の災害復旧工事	・国庫補助災害復旧事業[工事箇所6箇所] ・国庫補助災害査定[農地・農業施設62件] ・国庫補助率増高申請 ・町単独災害復旧事業[発注14件]	国庫補助工事 40件(62箇所)完了 町単独工事 22件完了	50,711	特になし	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	農政課
		36	農業者向け経営再建支援	被災農業者向け経営体育成支援事業[事業完了 130事業(75経営体)] 繰越:1,784,010千円	H28申請事業の完了件数425件、H29申請事業の完了件数97件となったが、資材不足や人手不足による工事の遅れが発生し、H29申請事業の繰越43件が発生したうえ、H28申請事業についても、繰越56件が発生した。	668,018	H29申請事業と併せて繰越事業内容の変更もあり精査等の事務量が膨大なため、事務手続きにかなりの時間を要している。業者の人手不足による工事の遅れが発生しており、完了も遅れている。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	農政課
		37	林道の災害復旧工事	・国庫補助災害査定 [林道7箇所]	国庫補助工事 5件(6箇所)完了	11,643	特になし	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	農政課
		38	中小企業者等の経営再建支援	115社、3グループの認定申請。(その他町内企業が代表の認定グループが8グループ)	平成28年度～平成29年度のグループ補助金申請に伴う罹災証明の発行は105件行った。	0	既存グループの変更認定申請が10月31日に終了し、交付申請も12月で終了した。今後の支援体制について情報収集が必要である。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	商業観光課
		39	企業誘致の継続	立地協定 2件 工場や機械の増設 4件 企業訪問 74社 226回	立地協定目標件数:2件/年度 立地協定:2件/年度(平成28年度) 立地協定:9件/年度(平成29年度)	2,609	土地や建物の問い合わせについては、民地の紹介を行っているが、紹介できる物件が少ない。 ※新設や増設など問い合わせが増えている。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	企業誘致課
		40	地域農産物のブランド化【地方創生の取組み】	H28年10月に関西方面にてカライモのテストマーケティングを実施。また、H29年2月末～3月にかけて台湾高雄市にて百貨店催事での特産品販売を実施。	H28年度には関西方面でのカライモのテストマーケティングや、台湾高雄市百貨店催事での特産品販売を実施。また、H29年度には町のふるさと納税制度を更新し、町の特産物のPR・販路拡大に取り組む。	0	海外への販路拡大を検討するも厳しい状況。引き続き、ふるさと納税制度などを活用し展開していく	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	総合政策課
		41	若い世代の雇用確保	企業と学校との情報交換会 1回	菊池地域企業誘致推進プロジェクト協議会及び大津町企業連と連携を取りながら雇用確保のため、次の事業を開催。 平成28年度:企業と学校との情報交換会(企業連) 平成29年度:おしごと発見フェア(協議会) 企業と学校との情報交換会(企業連)	350	菊池地域企業誘致推進プロジェクト協議会研修を2月に開催予定。 ※企業からの求人も増えており、雇用の確保につながっている	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	企業誘致課

基本方針	重点施策	整理番号	事業項目	参考：H28年度末までの実績	復旧期間2年間(H28～H29)の進捗状況と実績	累計歳出額(千円)	平成29年度末時点の課題(※担当課のコメント)	平成29年度末現在の取組みの評価	担当課
	成4 交流・地域拠点の形	42	肥後大津駅の愛称化に伴う駅南口の活性化	平成29年3月の駅愛称化に伴い、駅南口でのセレモニー及びPRイベントを実施。	県の「大空港構想」と連携し、駅の愛称化(阿蘇くまもと空港駅)と関連イベント等を実施した。また、地方創生推進交付金を活用した肥後大津駅周辺地域活性化事業に着手。29年度には地元商店などが中心となった活性化実行委員会を発足させ、住民ワークショップ等による実行計画書の策定などに取り組んだ。	700	肥後大津駅周辺地域活性化事業実行委員会が策定した計画に基づき、「空港駅」や周辺地域のPRをはじめ、桜並木づくりやイルミネーション化などの事業に取り組む。実施にあたっては、行政と実行委員会が協働で取り組むことが重要である。 ※中心市街地活性化と連携した取組みも必要。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	商業観光課 総合政策課
		43	肥後大津駅を核とした賑わいの創出	駅南口においては、駅愛称化に伴うセレモニー、イベントを開催。 上井手周辺に水車の設置を検討。	肥後大津駅周辺地域活性化実行委員会が中心となり、駅周辺の活性化についての計画づくりを行った。また、歴史文化を活かした取組みを目指す駅北側については、上井手公園に水車を設置した。	0	駅南のふれあい散歩道商店会など実行委員会のメンバーと連携した展開が重要である。 ※駅北側の上井手公園に水車が完成し、上井手周辺の散策ルート等の検討が必要である。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	商業観光課 総合政策課
③ 命を守る・災害に強いまちづくり	1 災害対応の基盤づくり	44	役場庁舎の再建	コンサル業者と基本構想、基本計画策定業務委託を締結。	平成28年度に基本構想・基本計画業務委託締結後、定期的に議会・外部・内部の検討委員会を開催し、平成29年12月に基本計画まで策定。 その後、プロポーザルを経て、平成29年12月に基本設計・実施設計業務委託を締結。平成30年12月末を目標に実施設計の策定を目指す。	4,439	竣工までの事業期間が短いため、基本構想・計画から設計、工事までの工程管理が課題。 ・外部・内部調整が課題	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	総合政策課
		45	防災拠点の整備	北部・中部・南部それぞれの防災拠点について検討中。	南部地区の避難所をどこにするのかの検討を進めた。	0	南部地区の避難所をどこに整備するか検討を進める必要がある。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	総務課
		46	消防団詰所の復旧工事	被害箇所把握	20件程の修理や立替の要望があっているが、まだ12件の完了となっている。	1,149	早急な整備が必要だが、建替えの用地の選定や確認申請の許可関係で思うように進んでいない。	C 目標を下回る [80%以下]	総務課
		47	防災倉庫の整備	予算計上し繰越 中部については進行中。	中部地区は工事が完了した。南部地区においては、現在工事中である。北部地区については、場所の検討が必要である。	100,000	計画的な整備が必要。 ※南部は予定どおり進行中。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	総務課
		48	物資の備蓄	コメリとの協定を締結した。	避難所の整備と併せて備蓄計画の作成検討を行っている。 ナフコと災害協定の締結に向けて協議中。	0	避難所の整備と合わせた備蓄計画を策定すること。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	総務課
	2 教訓を活かした発災時の対応づくり	49	震災の記録と対応の検証作業	職員のアンケートまでは、実施済。	区長、住民を実施し職員アンケートとあわせ、職員ヒアリングを行った。	4,536	早急な検証を進めていくこと。また検証を行うだけではなく、防災計画等に反映させていくことが求められる。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	総務課
		50	発災初期の連携体制づくり	避難所運営マニュアル策定済み	避難所運営マニュアルを策定していたが、防災計画の見直しと併せ継続して実施していく。	0	マニュアルに基づいた訓練の実施。 ※実際の災害時に対応できるのかシミュレーションを行う必要あり。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	総務課
		51	災害情報の伝達	デンソーの情報システム(アプリ)の導入を調整。	デンソーの情報システムの実証実験を通じ、利用者のアンケート調査を実施した。	0	・防災無線について、「聞こえすぎる」、「聞こえにくい」という双方の意見があるため、運用方法を検討する必要あり。 ・積極的に災害情報を見ていただくよう、住民への意識づけ	C 目標を下回る [80%以下]	総務課
		52	共助による震災対応の町づくり	熊本地震による課題検証作業	災害時避難行動要支援者名簿の更新を行い、関係支援機関(行政区嘱託員・民生委員・警察・消防等)にも要援護者リストを配布し、支援体制構築のための取組みを実施した。	0	・各地域において、要援護者リストの活用方法へのフォロー(平時・緊急時) ※各地域において、要援護者リストの活用方法や個別支援計画書の充実を図る必要がある。	B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	福祉課

■評価結果集計

A 目標以上 [100%以上]	0
B(ほぼ)目標通り [100%～80%]	47
C 目標を下回る [80%以下]	8
合計(事業項目数)	55